

# ひょうご企業探訪

2019 学生が聞く

10

## キツザニアで職業観養う

子ども向けの職業体験施設「キツザニア甲子園」(西宮市)などを運営する。再現した職場で仕事をしてみたい、施設内で使える専用通貨を報酬として渡す。甲南女子大の佐伯勇教授のゼミ生が能勢幸次専務執行役員を訪ねた。

「どんな施設なのか。」

「メキシコの会社が開発し、世界21カ国に27施設があります。日本では2006年に東京で開設。甲子園は09年に開業しました」

「まちには3分の2の大きさの店舗や工場が約60あり、すし職人や飛行機のパイロットなど約100種類の仕事が体験できます。単なる体験でなく、社会の仕事みや働く意味を学び、職業観を育ててもらおうと考えています」

「来場者数は。」

### KCJ GROUP(東京) 能勢 幸次専務執行役員(62)



KCJ GROUPの能勢幸次専務執行役員(右)に取材する甲南女子大3年の發(はり)千紘さん。いずれも西宮市甲子園八番町

「現在は年間約75万人で業にも組み込まれていて、年50回以上来るリピーターです。年間約1250校・団体も。英語しか話せない日や中学生だけが対象の時間帯も設けています。キャリア教育の一環で、中学校の授

### メモ

2004年設立。売上高は非公表。キツザニア甲子園はアルバイトを含め従業員約千人。キツザニア東京とは別採用で、20年春の新卒採用予定数は未定。西宮市甲子園八番町1の100。採用担当 ☎07988・81・0182



キツザニア甲子園の入場口は、再現した空港の搭乗カウOUNTERとなっている

「子どもの頃に職業体験をした人が、その企業の内定をもらった事例が出てきました。スポンサー企業から、体験した子がアルバイトに来てくれるといった声も聞きます。体験が実際の職業につながり始めたと感じ

「概を覚えます」

「地域との交流は。」  
「新潟・三条市で、かじ職人の仕事を体験するなど、施設の外との交流を数年前から始めました。兵庫県内の地場産業とも同じ取り組みを検討中で、1、2年の間に実現できればと考えています」

「求める人材は」

「子どもが好きで、コミュニケーション能力があり、いろんな角度で物事を見られる人がいいですね」  
(まとめ・塩津あかね)

「おわり」

